

GREATER KUMAGAYA ORGANIC FES 2018

2018/09/23 SUN 10:00 - 17:00

AT KUMAGAYA SPORTS CULTURE PARK

WWW.GREATERKUMAGAYA.JP

(埼玉県熊谷市上川上300)

2018年9月23日(日) at 熊谷スポーツ文化公園

熊谷圏オーガニックフェス2018

熊谷初の 野外フェス!

入場無料 雨天決行

音楽! 食! お酒! トーク! 展示! ラグビー!
年齢問わず、家族で一日楽しめるイベントです。
是非! テント&レジャーシートをご持参ください。
全店リユース食器(有料)使用!
マイ食器&カップを持ってこよう!

◎ボランティアスタッフ募集中

詳しくは

www.greaterkumagaya.jp 

主催: 熊谷圏オーガニックフェス実行委員会
お問合せ: info@greaterkumagaya.jp

GREATER KUMAGAYA ORGANIC FES

2018/09/23 SUN 10:00

AT KUMAGAYA SPORTS CULTURE PARK

WWW.GREATERKUMAGAYA.JP

2018年9月23日(日) at 熊谷スポーツ文化公園

熊谷圏オーガニックフェス2018

GREATER KUMAGAYA
2018
- 17:00

ARTIST

MINMI
GAKU-MC
YAE
河口恭吾
日本フィルハーモニー
交響楽団
AND MORE...

併催 埼玉県全63市町村キーマン展示
熊谷市ラグビー祭り
ラグビーワールドカップ開催1年前イベント

FOOD & MARCHE

農福連携
暮らしマルシェ
コーヒーと日常
NEW HOLIDAY
OGAWA ORGANIC FES
空と僕の
オーガニックな関係
CHICHIBU CITY
PROJECT & VEGGY

熊谷圏オーガニックフェス実行委員会
(埼玉県 / 熊谷市 / (一社)埼玉ラグビーフットボール協会 / (一社)熊谷市ラグビーフットボール協会 / (一社)埼玉県物産観光協会 / (一社)熊谷市観光協会 / (公財)埼玉県公園緑地協会 / 熊谷商工会議所 / 埼玉県信用金庫)

[協力]
環境省
D&DEPARTMENT SAITAMA
(有)PUBLIC DINER
(一社)the Organic
UCHIBE ATELIER
平井政俊建築設計事務所
(特非)アースタイムネー・アソシエーション
レいかい
熊谷経済新聞
埼玉福興(株)
(特非)生活工房つはら・遊
(特非)ARUKAS KUMAGAYA
(特非)AEA英語通訳キッズプロジェクト
JNKテクニカルサポート
ツカノマ
(一社)農福連携自然栽培パーティ全国協議会
全国農福連携推進協議会

※ 出店者、出演者、出演者などの都合により内容が変更となる場合もあります。
※ 主催者が運営に支障をきたすと判断した場合、プログラムや運営上のルールを変更する場合があります。
※ 雨天決行ですが、荒天や災害の場合は中止となります。詳細はHPでご確認ください。
※ 当日パンフレットは、本部にて配布しております。

会場までは公共交通機関をご利用ください。
JR熊谷駅【北口(正面口) / 3番のりば】から、路線バスを増便致します。

FOLLOW ME! /



MUSIC & TALK STAGE

音楽&トークステージ



MINMI



GAKU-MC



YAE



河川恭吾



日本フィルハーモニー
交響楽団

FOOD & MARCHE

フード&マルシェ

県内の感度の高いフード&マルシェがビレッジ方式で多数参加。自分のライフスタイルにあったビレッジを見つけよう!お店の数は、総勢120店舗以上!全店リユース食器を使用!各ビレッジを結んだスタンプラリーや、リユース食器を返却後の抽選会もあります!

ORIGINAL GOODS

オリジナルグッズ販売



Tシャツ



レジャーシート

事前販売は
HPから

他、
・トートバック
・リユースコップ
・リユース食器
・Tシャツ各種
(オーガニックコットンも!)
販売予定!

「スタートアップ オーガニック宣言 in 熊谷」

当日、このフェスの開催を記念し、参加者賛同のもと「スタートアップオーガニック宣言 in 熊谷」を宣言します。この宣言は、ラグビーワールドカップ2019、東京オリンピック/パラリンピック2020のあとも、ずっと続く生活に根差した思想として、その土地がその土地らしく、命を育むための宣言です。埼玉にて「オーガニックムーブメント」が広がるキッカケをつくります。また、この宣言は、スポーツの街・熊谷らしく、スポーツマンシップに則り、明るくて、元気で、楽しく、安全・安心、健康的な街をつくる事にもつながります。

リユース食器、マイ食器って、なあに?

環境持続型のフェスです!フード&マルシェの各店にて使用されている、お皿、コップなどは、有料(100円)のリユース食器を使用しております。使用後は回収ブースへの返却をお願い致します。返却すると抽選券がもらえます!リユース食器で、賞品をゲット!このフェスでは、マイ食器(コップ、お皿、箸、スプーン)を持参することを推奨しております。注文時にマイ食器を出して頂ければ、その食器に盛りつけます。また、自分で持ってきたゴミは、自分で持ち帰ろう!購入したものは、ごみゼロステーションもあり!ボランティアスタッフの協力で廃棄物の削減を目指すと同時に、資源をリサイクルに回しています。

グレートクマガヤ Greater KUMAGAYA (熊谷圏)って、なあに?

近隣市町村がつながり支え合う、オーガニック&サステナブル都市圏構想、それが、Greater KUMAGAYA (熊谷圏)です。奈良時代に成立されたとされる、現在の埼玉県と東京都のほぼ全域を包括する武蔵国(むさしのくに)があり、その後1871年(明治4年)には熊谷県として、武蔵国北部・上野国のほぼ全域を管轄するための「県」が設置されました。これは現在の埼玉県の大半、群馬県のほぼ全域にあたります。これらの歴史からも、現在の市町村を超えてつながり、支え合うことが重要であると私たちは考えます。

なんで、オーガニックなの?このフェスのテーマを教えてください!

①オーガニック(有機的なつながり)&サステナビリティ(持続可能性)なフェスを目指す。

2012年ロンドン大会からのオリンピック・パラリンピックの基本理念であり、食材の調達基準にも掲げられているのが、『オーガニック&サステナビリティ』。オーガニックとは、食だけにとどまらず、自然と人、人と人が有機的につながる、暮らしや生き方そのもの。サステナビリティとは、人間・社会・地球環境の持続可能な未来への取組みのこと。2019年ラグビーワールドカップ、2020年オリンピック・パラリンピックを世界からアスリートをお迎えするスポーツの街・熊谷。さらに気候変動の影響を受け、温暖化対策の先進都市へと進化すべき「日本で一番暑いまち」熊谷だからこそ、オーガニック&サステナブルなフェスを目指すことができます。Think Global, Act Local!

②フェスを通して、ホームグロウンHOMEGROWN=「地元愛」を育む。

ホームグロウンとは、本来「地元育ち」の意味ですが、このオーガニックフェスでは、ざっくり「地元愛を育む」ことをいいます。それは、その土地の自然や社会環境を守り、伝統文化を大切にし、その地域ならではの個性、新たな可能性を育てること。そうした「地元愛」こそ世界が持続可能なための原動力になると考えるからです。地元を愛する人たちが、地域を愛する人たちが、そして世界を、地球を愛する人たちが集結するフェスにします。「地元のためは、世界のために! 世界のためは、地元のために!」まさにOne for All, All for One!の精神です。

自分が生まれ育ち、学び、働く環境には、ご自身が、気づいている、気づいていない関わらず「無償の愛」が必ず存在します。その土地のありたい姿が、その土地らしく、混然一体となつてある状況が、まさに、オーガニック(有機的なつながり)であり、HOMEGROWN(地元愛)なのだと思います。ネットの世界に本当の情報はない。本物の音楽と食の力で、起こっている状況の体験こそが、情報を超え、身体化させる。僕たちは、今や、グローバルを意識する必要なく、ローカルを極めさえすれば、自然に、世界ともつながっていく時代だと考えます。Startup! Organic!

運営本部長兼統括プロデューサー 加賀崎勝弘